

1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	赤磐市立城南小学校	実践者名	國安 真輔
教科等	国語科	学年	第5学年
		Stage	Stage 2
育成したい 資質・能力	互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。		
単元・内容等	たがいの立場を明確にして、話し合おう 「よりよい学校生活のために」		
児童生徒の実態 (端末活用頻度等)	・ 気になることをインターネットで調べることができる。 ・ スライドを使用し、簡単なプレゼンを作成することができる。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
【学習の流れ】			
(1) 学校生活の中から議題を決める。 KJ法を用いて、学校生活の問題点をクラスでまとめた。その後、いくつかの課題にしぼり課題ごとにグループ分けをした。			
(2) 議題についての解決方法を考える。 選択した議題について自分たちの経験をもとに解決方法を考えた。インターネットを使用し解決方法を調べる児童もいた。			
(3) 議題について話し合う。 調べたことをもとに、自分の考えを明確にしながら解決方法を話し合った。全体の意見から全校で取り組めばよい考えをまとめていった。			
(4) 話し合ったことを学校生活で実践する。 話し合ったことを全校児童に伝えるために、スライドにまとめた。その際、文字を短くすること、イラストやアニメーションを入れることで、分かりやすいスライドになることを指導し作成した。作成後、全校児童朝会でプレゼンテーションを行い、学校生活をよりよくするための取組を伝えた。			
			
スライド作り			
全校児童朝会での発表			
実践者の手ごたえ		児童生徒の振り返りや反応等	
自分たちが考えた提案を全校に伝え実践しようという目的があったからこそ、友達と相談しながら、分かりやすいスライドを作成することができた。誰かに自分の考えを分かりやすく伝える一つの手段として、パワーポイントは最適であることを実感することができた。		・ カメラでとった画像もスライドにすぐ入れることができて便利だった。 ・ パワーポイントを使って分かりやすいプレゼンテーションにすることができた。 ・ スライドがあり、一生懸命聞いてくれてうれしかった。	